

| | | | |
|----|--------|------|------|
| 品名 | 液化石油ガス | 国連番号 | 1075 |
|----|--------|------|------|

該 当 法 規 ・ 危 険 有 害 性

| 消 防 法 | | | | | | 毒物及び劇物取締法 | | | 高圧ガス保安法 | | 火薬類取締法 | | | 道路法 | |
|-------|-------|-----|-----|-------------|------------|--------------|-------------|----------|-----------|--------|--------|-----|----|-----|------------------|
| 類 別 | | | | | | 品 名 (法別表) | 毒物 | 劇物 | 特定毒物 | 一般高圧ガス | 液化石油ガス | 火薬 | 爆薬 | 火工品 | 施行令第19条の12、13に該当 |
| 第1類 | 第2類 | 第3類 | 第4類 | 第5類 | 第6類 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | ● | | | | ● |
| 特 性 | 危 険 性 | | | 有 害 性 | | | | | 環 境 汚 染 性 | | 性 状 | | | | |
| | 禁水性 | 爆発性 | 可燃性 | 有 害 ガ ス 発 生 | | | 目・皮膚に触れると危険 | 河川への流入注意 | 固体 | 液体 | 気体 | 水溶性 | | | |
| | | | | 常温 | 加熱時 火災時 | 水に接触 | | | | | | | | | |
| | | ● | ● | | | | | | ● | | | | ● | | |

事故発生時の応急措置

- ①車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないように移動し、エンジンを停止し、車止めをする)
- ②ガス漏洩が発生したら、事故の発生を大声で告げ、消防署及び警察署に連絡し、人々を風上に避難させる。
付近の可燃物を遠ざけて、火災の発生を防ぐ。

緊急通報

119 (消防署) 110 (警察署) 高速道路の非常電話

[緊急通報例]

- 1. いつ ○○時○○分頃
- 2. どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○線○○付近で
- 3. なにが 「液化石油ガス(LPガス)」が
- 4. どうした 飛散しています、飛散して火災になってます
- 5. ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません
- 6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です

緊急連絡

(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)

| | |
|------|----------------|
| 荷主会社 | |
| 住所 | |
| 電話 | 平日・昼間 休日・夜間 |

| | |
|------|----------------|
| 運送会社 | |
| 住所 | |
| 電話 | 平日・昼間 休日・夜間 |

| | | | |
|----|--------|------|------|
| 品名 | 液化石油ガス | 国連番号 | 1075 |
|----|--------|------|------|

災害拡大防止措置

特記事項

- ・ガス比重は1.5～2.0で、無色、有臭（着臭）である。
- ・容器の温度は40℃以下で、圧力は1.53MPa以下に保つこと。

（高圧ガスにあつては、温度と圧力の関係、比重、色、臭い等記入）
（毒劇物にあつては、成分、含量、数量等記入）

漏洩・飛散したとき

- ①ガス供給を絶つ。
- ②できる限り車両は風通しのよい安全な場所に移動する。
- ③漏洩個所の漏れを止める。
- ④ロープを用い、危険区域を明示するとともに、付近に火気がないことを確認し、付近の住民に火気使用を中止するよう要請する。

周辺火災のとき

- ①タンクローリー又は容器配送車を安全な場所に移動する。
- ②移動が不可能な場合には、タンクローリー又は容器の周辺に散水し冷却する。

引火・発火したとき

- ①消防、警察に連絡し、その指揮下にはいる。
- ②ガスの流出を遮断できる場合は、消火器にて消火する。
消火器はABC型またはBC型を使用する。
- ③散水等により周囲を冷却し延焼防止を図る。

救急措置

- ①吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難な場合は酸素欠乏の措置を行う。
- ②皮膚に付着した場合（液状の場合）は凍傷の手当てを行う。
- ③必要に応じ医師の手当てを受ける。